

第10回(2008年)日本水大賞グランプリ受賞

熊本市は、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる21世紀の日本と地球を目指し、健全な水循環系の再生において顕著な取り組みを行っている団体等に送られる「日本水大賞」において、グランプリを受賞しました。

テーマ：「ふるさとの水循環系と水文化の一体的な保全活動」

活動概要

「日本一の地下水都市」といわれる熊本市には、地下水を中心とする地域独特の水循環系と、水に関係の深い歴史・風習などの水文化が暮らしの中に息づいています。

こうした水循環系と水文化を一体的に保全し、普及啓発することにより、ふるさとの水保全を推進させています。科学的方法で説明されがちな水循環系や水資源を、地域の水文化とからめて保全・啓発することで、地域の水資源の本質的な価値や姿を市民に示すことができます。市民にとっては身近に感じられ、ふるさとへの愛着も生まれ、水の保全はもとより地域の魅力づくりにも役立っています。

受賞理由

■30年以上にわたる長期的な地下水保全に取り組み

- 昭和51年3月 地下水保全都市宣言
- 昭和52年9月 地下水保全条例の制定 など

■水文化をからめた普及啓発

- 熊本水遺産登録制度
- くまもとウォーターライフガイドブック作成 など

■地域全体を巻き込んだ地下水保全活動

- 節水社会実験 など

■市域を超えた広域的な取り組み

- 水源かん養林整備
- 白川中流域の水田を活用した地下水かん養
- 上・下流域の交流活動 など

このような、近隣市町村と連携を図り、継続した取り組みが高く評価され、大賞の受賞となりました。



熊本市の主要な水源「健軍水源地」



熊本の水のシンボル「江津湖」



白川中流域



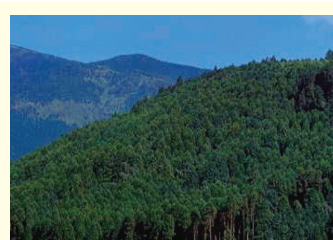
市域を超えた交流連携



熊本水遺産



節水社会実験



水源かん養林整備



熊本市の節水キャラクター「節水ちゃん」